【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号　D-21-7 事業名　　町方地区下水道事業(施設増設)
事業費　　488,100,000 円 （内訳:本工事費 476,600,000 円、測量設計費 11,500,000 円）
事業期間　平成 26 年度～平成 27 年度
事業目的・事業地区 大槌町では、震災以前より公共下水道事業の一環として未普及解消を目的とした汚水管整備を継続していたが、津波により中心市街地である町方地区や安渡地区など、公共下水道の供用済み区域の大半が被災した。 これら被災した地区では、震災復興土地区画整理事業や防災集団移転促進事業によるインフラ整備として汚水管が整備されることにより、公共下水道区域の拡大及び整備率・水洗化率の飛躍的な向上が期待される一方、既存２系列での浄化センターの処理能力不足が懸念されていた。 本事業は、汚水処理能力の確保により汚水処理の適正化を図ることを目的に３系列目となる施設増設を行ったものである。
事業結果 平成 26 年度　実施設計 平成 26 年度～平成 27 年度　本体工事 【事業概要】 ・土木工事 水処理施設工一式、オキシデーションディッチ工一式、最終沈澱池工一式 分配槽工一式、場内整備工一式、場内配管工一式 ・建築工事 汚泥ポンプ棟　RC 造　１階建（地下１階）１棟 建築面積　105.50 ㎡　延床面積　196.95 ㎡、建築工事（改修工事）一式 ・建築機械設備工事 汚泥ポンプ棟　建築機械設備工事一式 ・建築電気設備工事 汚泥ポンプ棟　建築電気設備工事一式、場内設備　建築電気設備工事一式
事業の実績に関する評価 復興事業の進捗により、公共下水道区域の拡大と整備率及び水洗化率の向上が実現した。本事業による施設増設により、汚水量の増加に対して適正な汚水処理が可能となり、復興事業完了後も継続して行われる未普及解消事業に伴う汚水処理量のさらなる増加へも対応可能となったことから、本事業は有効性が高い事業であると評価できる。 各種調査・分析・評価 ①　事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 復興事業完了後に見込まれていた汚水処理量日最大 2,389 ㎥/日に対し、既存の２系列は 2,300 ㎥/日と不足することが懸念されていたが、当該事業による施設の増設により 1,200 ㎥/日の汚水処理能力が増加した。 上記を踏まえ、本事業は適切に活用されていると考える。

② コストに関する調査・分析・評価

・工事費の高騰

申請時（平成 24 年度）と比較し、詳細設計及び工事実施期間（平成 26 年度～平成 27 年度）では、労務費及び資材単価の高騰が生じたほか、東日本大震災被災３県を対象とした間接工事費の率補正、消費税の増税（５％→８％）等により委託費及び工事費について増額が生じた。

また、これらに伴い下水道事業団への管理委託費についても増額が生じた。

単位：千円

	第４回申請	第 11 回申請	最終（事業間流用後）
全体事業費	410,000	530,000	488,100

※ 第４回申請において、本事業を新規追加。

※ 第 11 回申請において、工事費の増額申請を行っている。

※ 第 20 回申請において、他事業に事業間流用を実施。

・日本下水道事業団への委託

震災の影響により町下水道技術職員が不足し本事業の実施が困難な状況であったことから、日本下水道事業団との委託協定を締結し、技術管理支援を受け当該事業を実施した。

専門的な知見及び経験を有する日本下水道事業団へ委託することで、設計業務及び工事について適切な管理を行うことができ、運用開始までの確実な事業の遂行、早期の供用開始へ繋がった。

上記を踏まえ、本事業に要したコストは妥当であると考える。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	事業期間		備考
	計画	実績	
調査・測量・設計	H26.4 ～ H27.3	H26.4 ～ H27.3	
整備工事	H26.12 ～ H28.3	H26.12 ～ H28.3	

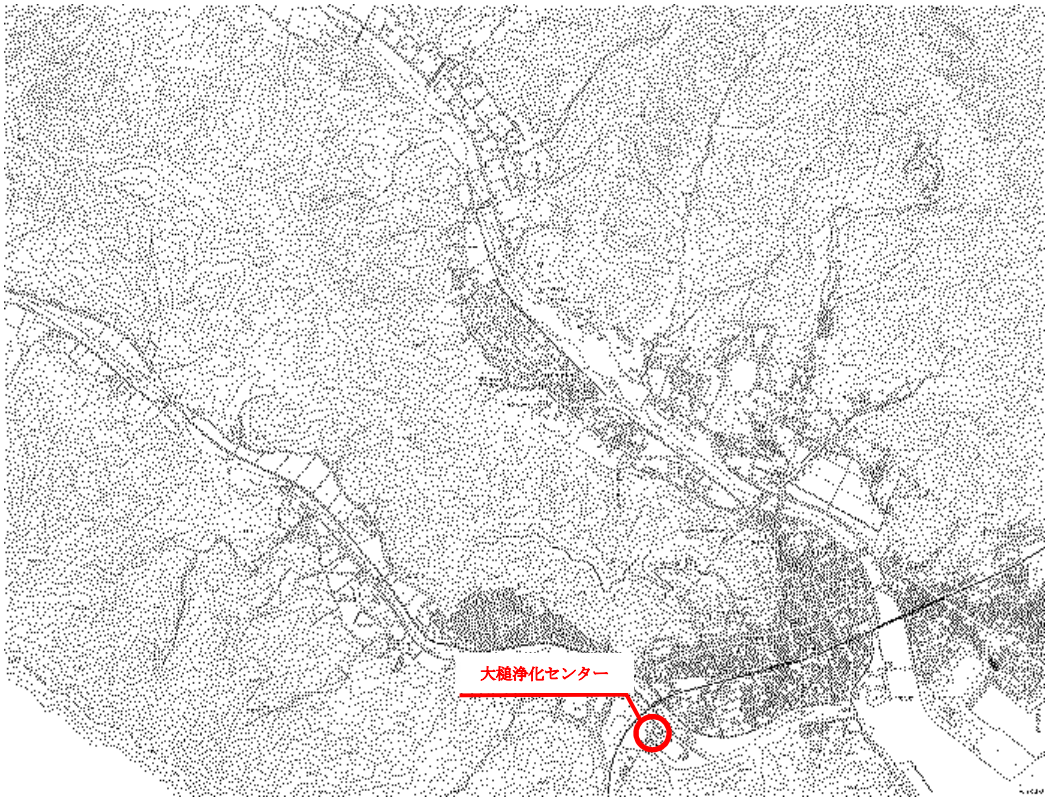
事業の実施にあたり、震災復興土地区画整理事業や防災集団移転促進事業等における面整備完成後の被災者の住宅再建による汚水処理量の増加を考慮し、平成 27 年度に事業を完了させた。

事業完了後において、被災者の住宅再建による汚水処理量の増加に対し、汚水処理能力に不足が生じることもなく適正な汚水処理が実現していることから、本事業の事業手法、期間は妥当であると評価できる。

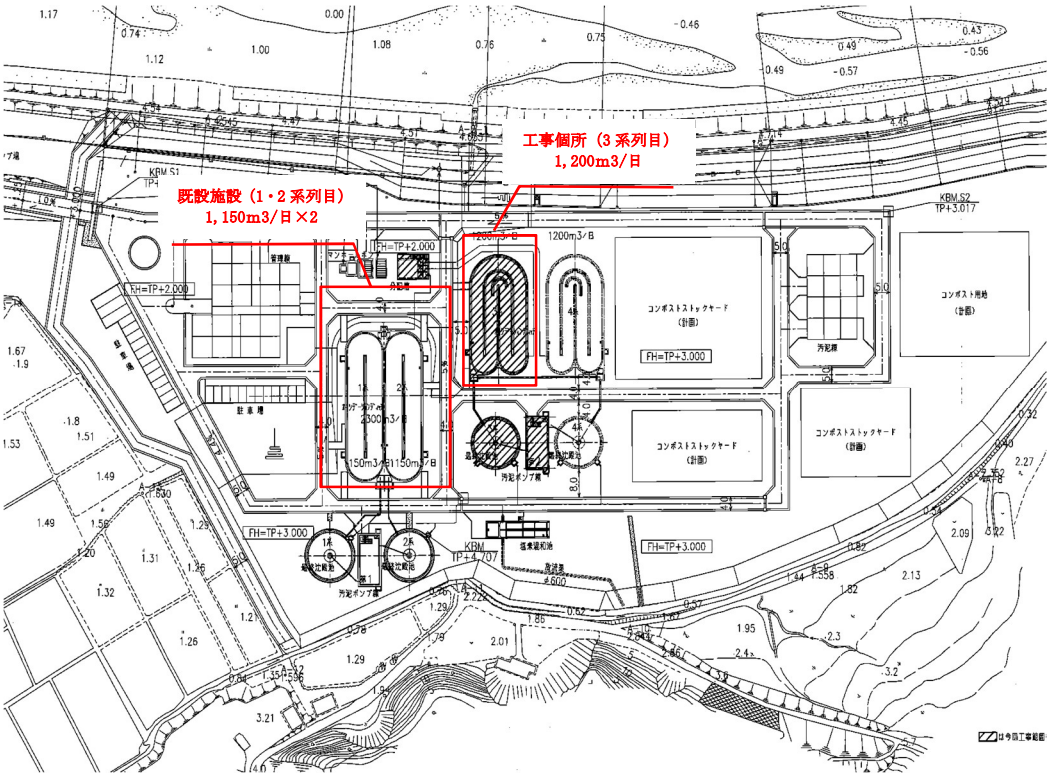
事業担当部局

大槌町上下水道課　電話番号：0193-42-8719

【位置図】


大槌浄化センター

【配置図】


工事個所（3 系列目）
1,200m3/日
既設施設（1・2 系列目）
1,150m3/日×2
1200m3/B
2300m3/B
150m3/B
150m3/B
FH=TP+2.000
FH=TP+3.000
コンポストストックヤード
（計画）
コンポスト用地
（計画）
汚泥棟
汚泥ポンプ棟
KBM.S1
KBM.S2
TP+3.017
KBM
TP+4.707
1号
2号
活性汚泥槽
最終沈殿池
汚泥ポンプ棟
駐車場
管理棟
マンホール
今回工事範囲

【完成写真】